

今後の街づくりの進め方

今後の街づくりの進め方

・「地区街づくりの会」では、地区周辺の将来の街づくりに向けて、街づくりを検討するうえで必要となるテーマを設定し、ご議論いただきます。
(本年度は概ね月1回、4回程度開催予定)

【次回以降の検討テーマ】

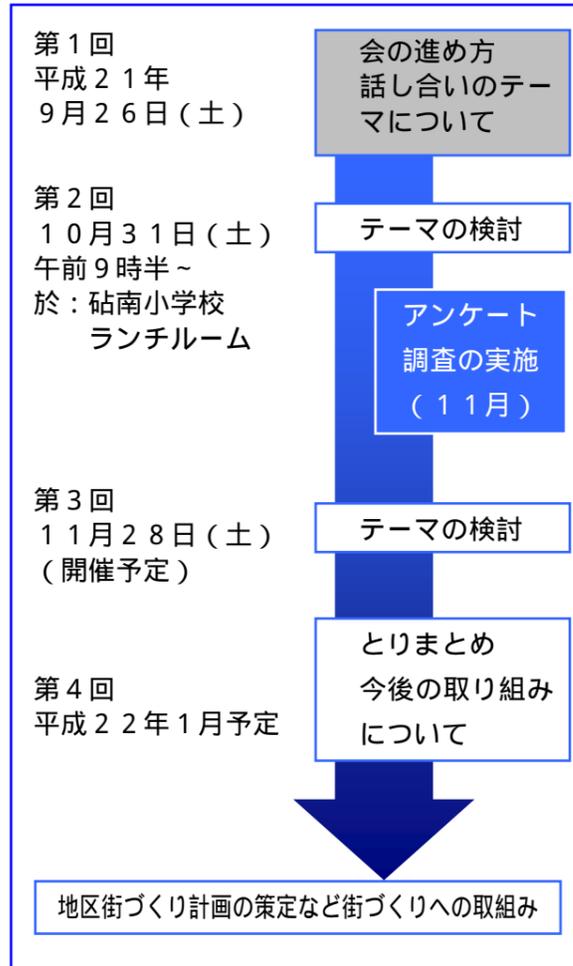
第2回検討予定

生活環境の心地良い街づくり(土地利用、地域の資源及び生活環境の視点から)
地区の元気を支える街づくり(地域の産業(農業・工業)の視点から)

第3回検討予定

誰もが移動しやすい街づくり(少子高齢社会における公共交通網、道路網等に関する視点から) ほか

第3回目以降の日程は予定です。なお、第2回の詳細については参加登録いただいた方に後日連絡いたします。
街づくりの会の新規会員募集は行っておりませんが、会を傍聴することは可能です。傍聴を希望される方は、当日会場へお越しください。(人数が多数になった場合はご入場いただけない可能性もありますがご了承ください。)



街づくりアンケート調査にご協力ください!!

「地区街づくりの会」に参加いただいている方はもちろん、より多くの方から地区の街づくりについて、お考えやご意見を伺うため、「地区街づくりアンケート」調査を11月に実施します。

今回実施する「地区街づくりアンケート」は、実際に地区にお住まいの皆さまや土地・建物を所有されている皆さまが、日頃より地区の現状や将来についてどのようなお考えをお持ちなのかを把握することを目的としています。

地区に権利を有する全ての方を対象として、少しでも多くの方のご意見を伺い、地区の街づくりに反映していきたいと考えておりますので、是非ご回答をお寄せください。ご協力よろしくお願いたします。

街づくりに関するご意見・お問合せ先

世田谷区砧総合支所街づくり課 (担当: 海津・笹見・杉岡)
【住所】〒157-8501 世田谷区成城6-2-1
【電話】3482-1301 【FAX】3482-1471

街づくりニュース

第2号

平成21年10月26日 発行: 世田谷区砧総合支所街づくり課

「第1回 東名ジャンクション周辺地区 街づくりの会」を開催しました!

平素より世田谷区の街づくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

『東名ジャンクション周辺地区街づくりニュース創刊号』において、『東名ジャンクション周辺地区街づくりの会(以下、『地区街づくりの会』といいます。)]への参加を募集したところ、67名の方のご応募をいただきました。

今回ご応募いただいた方、皆さまに地区街づくりの会の会員となっていただくこととなりました。

平成21年9月26日(土)の午前中に、『第1回 地区街づくりの会』を開催しました。当日は、地区街づくりの会の設立の趣旨及び地区の概況について事務局から説明したあと、各テーブルに分かれて地区の課題と検討したいテーマについて皆さまで意見交換を行いました。(皆さまからのご意見等はP2~をご覧ください)



主な説明内容

Point1 『東京外かく環状道路(外環)』の整備を契機として、東名ジャンクション周辺地区の将来の街づくりのあり方について検討します

「地区街づくりの会」は、平成21年5月に事業化された外環の整備を契機として、東名ジャンクション周辺地区の将来の街づくりのあり方を検討するために設立した会です。

今年度は、ジャンクションの整備による地区の変化を踏まえながら、街づくりのあり方について、いくつか検討テーマを設け、各テーマに関する地区の課題と課題への対応策についてご検討いただく予定です。(ジャンクション本体の整備の是非や整備手法の検討を行うものではありません)

Point2 東名ジャンクション周辺地区では、土地地区画整理事業を施行すべき区域に指定されているなど様々な規制やルールが決められています

東名ジャンクション周辺地区では、都市計画法における用途地域などの規制のほか、土地地区画整理事業を施行すべき区域の指定や、国分寺崖線の保全を主な目的とした風致地区制度や区の『みどりとみずの基本計画』により地区内で建物を建築する際には多くのルールがあります。

土地地区画整理事業を施行すべき区域: 土地地区画整理事業を進めることで、道路や公園等の都市基盤の整備を推進し、良好な住宅地づくりを進める区域

第1回 地区街づくりの会の様子をご紹介します

全体での意見交換

ご意見等

- ・外環の整備が中止になった場合、この会で検討する内容は無駄になってしまわないのか。
- ・外環の完成予想図のようなものはないのか。ジャンクションができあがることで地区のイメージは大きく変わる。議論するうえでイメージが必要だ。



区への考え

- ・今回の街づくりについては、東名ジャンクションの整備がひとつのきっかけとなりました。今検討している地区はもともと街づくりを行うべき地区であり、整備の有無に関わらず進めてまいりたいと考えています。
- ・外環の整備方法については、現段階のものは提示できませんが、まだ決定ではなく、今後の進め方を含め国へ情報提供を求めているところです。なお、国から情報がありしだい、皆さまに提供したいと考えています。



各班で寄せられたご意見等

当日は、無作為に5つの班に分かれていただき、班ごとに地区の課題とよいところ、今後検討していきたいテーマについて意見交換を行いました。

検討テーマは 安全・安心な街づくり、誰もが移動しやすい街づくり、生活環境の心地よい街づくり、地区の元気を支える街づくりの大きく4つに集約することができました。

地区の課題と検討したいテーマ

1班

1. 安全・安心な街づくり
4年前に集中豪雨・床上浸水被害があった。
国分寺崖線見学コースになっている道路では車の規制が必要
2. 誰もが移動しやすい街づくり
外環道路の影響がでないように生活道路をきちんと整備すべき
3. 生活環境の心地よい街づくり
野川の「カワセミ」の暮らす環境を後世に残していきたい
緑豊かな国分寺崖線の育成・保存
農地転用が進み、農地が減少
4. 地区の元気を支える街づくり
今の生業を継続できるような街づくり
生活関連（生鮮食品・飲食店等）の店舗が少ない
5. その他
土地利用のあり方を考えていくべき（用途地域の変更等）



地区の課題と検討したいテーマ

2班

1. 安全・安心な街づくり
消防自動車、緊急車両が通行できる道路整備が必要である
2. 誰もが移動しやすい街づくり
道路、橋の位置が変わっても今より良い環境であって欲しい
3. 生活環境の心地よい街づくり
緑に囲まれ、川面に鳥たちが棲む環境を次世代に残したい
僅かではあるが、極力、農地を残してもらいたい
(緑の残し方の工夫)
4. 地区の元気を支える街づくり
高いところにあるジャンクションの下の利用は、体育館等地元民に必要な施設が欲しい
生活に必要な物品を買える店が少ない



地区の課題と検討したいテーマ

3班

2. 誰もが移動しやすい街づくり
バス停まで遠い。高齢化が進んで、バスの利用が便利になることが益々大切になる
分断される地域をつなげるような施設・架け橋・バス路線を新たにつくるべき
3. 生活環境の心地よい街づくり
四季折々に自然の移り変わりを感じることでできる地域、野川べりの野趣万々の地
生産緑地がなくなってしまうことが心配
4. 地区の元気を支える街づくり
営業継続が心配



地区の課題と検討したいテーマ

4班

1. 安全・安心な街づくり
生活道路の安全性
2. 誰もが移動しやすい街づくり
狭あい道路
交通の利便性（車・道路・公共交通）
3. 生活環境の心地よい街づくり
緑の保全

1～3 ソフトとハードによる良い街の実現



地区の課題と検討したいテーマ

5班

2. 誰もが移動しやすい街づくり
あまり優先順位は高くないが、地域の利便性の向上（買い物・交通）
3. 生活環境の心地よい街づくり
子供たちに残せる魅力あるふるさとづくり（蛭・鮎の復活、まつり）
子供たちの多さと地域のコミュニティを大事にしたい
4. 地区の元気を支える街づくり
畑と直売所（土と新鮮な野菜）があり、直売所で安心してものが買える

